

背景と目的

- 耐震偽装事件の教訓から、建築基準法が改正され、建築確認・検査の厳格化が図られています。
- 構造計算適合性判定の実績から、計算の誤りや構造計算ソフトの不適切な使用方法が散見されます。
- 本調査では、構造設計上の問題点や法令に係る情報を分析し、設計や審査に有用な情報を技術資料として作成することを目的としています(図1)。

1. 申請や設計手法上の問題点の整理分析と改善に向けた必要情報の検討

- 照会事例等の分析

2. 構造計算プログラム利用上の問題点の整理分析と改善に向けた必要情報の検討

- プログラムの特性等に関する情報分析

3. 構造関連の技術資料作成と講習会等による情報提供

- 設計者用、構造審査者用

図1 研究フロー

成果

A. 技術資料の作成

- 審査過程での指摘事項の分析により問題点を整理し、構造設計の基本事項や構造審査で問題となりやすい項目の具体例を資料として作成しました(図2)。
- 構造解析による構造特性を整理し、具体的な構造設計における技術資料を作成しました(図3)。

B. 研修会の開催

- 作成した技術資料を活用して、広く建築設計者を対象とした講習会と、構造設計者を対象とした技術解説講習会を開催しました(表1、図4)。
- 作成した技術資料を活用し、北海道と全特定行政庁の構造審査者を対象とする研修会・連絡会等を開催しました(表2)。

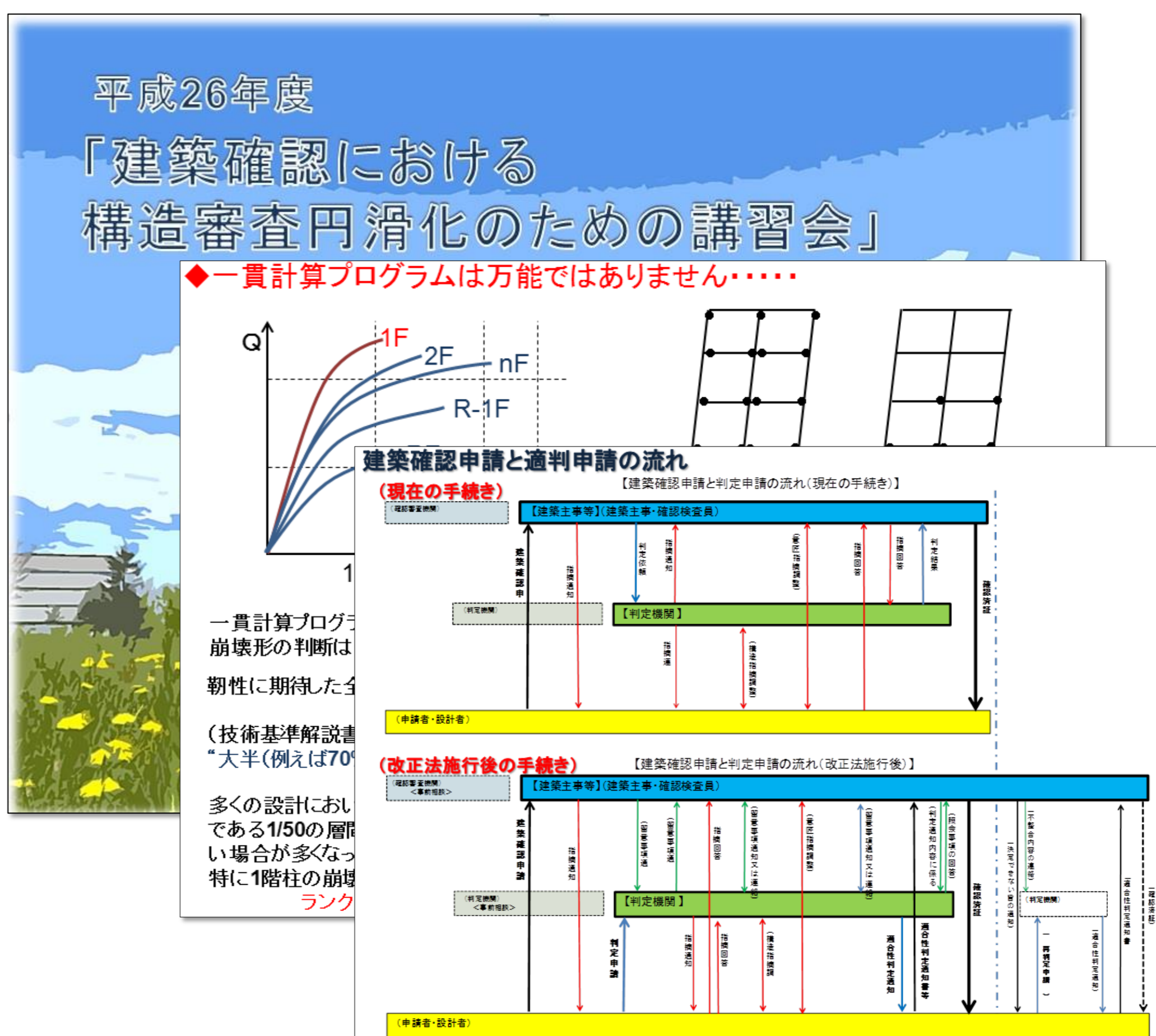


図2 技術資料の作成(資料の一部)

表1 設計者向け研修会

<p>■設計者向け講習会、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度・平成26年度 「建築確認における構造審査円滑化のための講習会」 日本建築構造技術者協会東北支部及び青森ブロック講習会 NTTファシリティーズ総合研究所主催セミナー
--

表2 構造審査者向け研修会

<p>■特定行政庁向け技術支援</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度構造審査関係研修 旭川・小樽・江別・帯広・北見・札幌・苫小牧・函館市職員 平成26年度構造審査研修、情報連絡会 旭川・江別・小樽・帯広・北見・釧路・札幌・苫小牧・函館・室蘭 北海道建設部住宅局建築指導課への支援 北海道建築主事会

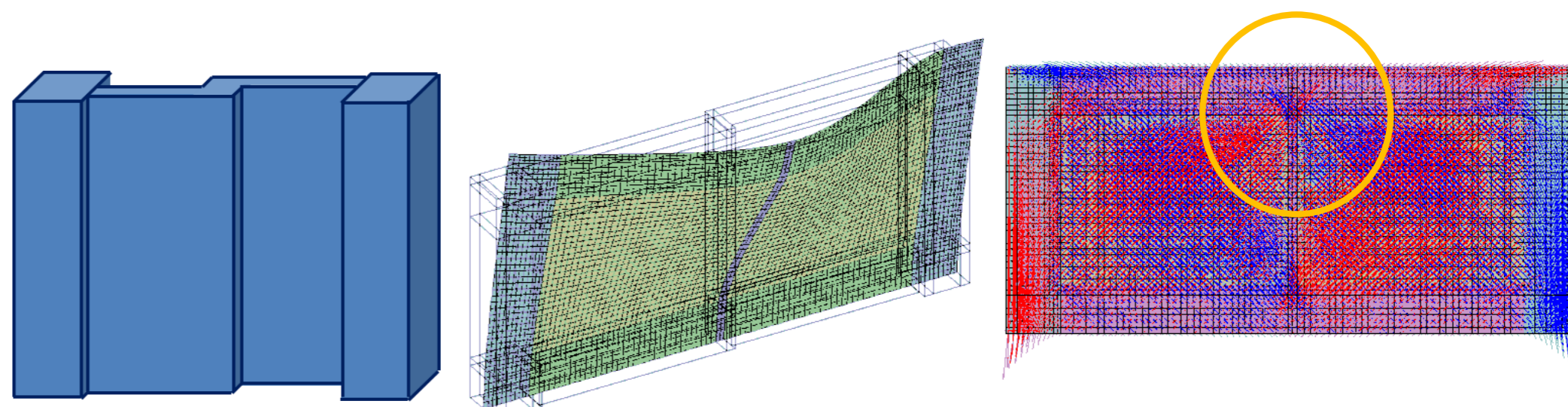


図3 クランク型耐震壁の構造特性を検証

成果の活用

本研究の成果は、今後も各種研修会等で活用されます。



図4 設計者向け講習会